

AOCについて質問を頂きました。

試験勉強に関連することなので、ここでのやり取りを載せさせていただきます。

大浦先生

お世話になっております。

先日は言語表記についての質問をリスニングにてご返答頂きありがとうございました。

今回も質問です。

ブルゴーニュのコート・ド・ニュイ地区のシャンボールミュジニーは、
生産色は「赤」だけど、

グランクリュのミュジニーの生産色は「赤・白」と言う事ですよ。

シャンボールミュジニーにあるミュジニーと言う畑は「赤・白」作れるけど、
シャンボールミュジニーでの生産色は「赤」に限定されるのがイマイチ引っかけ
かってしまい。。。

こちらでも機械的に覚えると言う認識で宜しいでしょうか。

以下が私の解答になります。

いつもご質問ありがとうございます。

AOC、難しいですね。

AOCは地名でもあり、畑名でもあり、時には品種名(ミュスカデなど)でもあったりと、様々な顔を持つので理解が難しいです。

ほぼ全ての受験生が頭を悩まされます。

機械的に覚えても試験的には全く問題ないのですが、改めて説明させて頂きませぬ。

まず、AOCに関する説明です。

AOCはいわゆる法律のようなもので

『一定のレベルを保つため』にAOCが存在しています。

これ、かなり重要な認識です。

AOCに関してはまずこの『レベル保持』を

頭の中に入れておいてください。

そしてもうひとつの概念としては

AOC はあくまで『AOC を名乗るためのルール』なだけで、そのルール自体を外れたからといって何も問題はありません。

具体的に言うと、AOC シャンボール・ミュジニィ村の生産可能色は『赤のみ』ですが、別にシャンボール・ミュジニィ村でも白ワインでもロゼワインでも発泡ワインでも作れます。『ただ AOC を名乗れないだけ』です。

その地域の AOC の条件(樹齢年数、熟成年数、生産色などいろいろ)を満たし、その AOC を名乗るということは

生産者側からすれば

『私たちのワインはちゃんとした品質を保ってますよー』ということになり、売りがすくなります。

AOC を認定している側からすれば

『あなたたち(生産者)はワインをちゃんと(適正な価格・評価で)売りたいんなら、ちゃんとした品質のワイン作ってくださいよー』となります。

以上の関係性のもとでその AOC ワインの『品質保持』をしています。

故に、AOC のレベルが上がるともちろん必要条件のレベルもあがります。

例えば

AC ブルゴーニュ(広域の AOC)では

『樹齢 10 年以上のぶどうでワインを作れば認めます』だったのが

AC マルサネ(村名 AOC)になると

『樹齢 20 年以上のぶどうでワインを作れば認めます』というように、条件が厳

しくなるわけです。

※上記のはあくまでも例えです

長くなりましたが、以上の概念を踏まえた上でご質問頂いた『シャンボール・
ミュジニィ村』の特級畑『ミュジニィ』の AOC について説明していきます。

『AOC シャンボール・ミュジニィ』の生産可能色は『赤のみ』です。

これは AOC 認定者側からすると

『シャンボール・ミュジニィ村は赤ワインに適した土壌なんで、(白やロゼでは
なく)赤ワインしか AOC は名乗れないですよー』という意味合いです。

なので赤ワインしかミュジニィ村の AOC を名乗れません。

ですが、特級畑『ミュジニィ』は特別です。

シャンボール・ミュジニィ村のなかでも、特級畑ミュジニィの畑で作った白ワインは大変素晴らしく、特例で認められています。

AOC 認定者側からしても

『ここまで秀逸な白ワインを作ってくれるのであれば AOC の品質は保たれるし、それどころか向上しますよね！なので、特例で認めます。』的なニュアンスです。

冒頭でも述べた通り AOC はあくまでも『品質保持』が目的なので、質が保たれれば同じ地域でもランクによって生産可能色は違う場合があります。

なので、ミュジニィもその類いの1つになります。

以上が頂いた質問の解答ですが、やはり分かりづらいですね。

私見で言えば、ソムリエ試験においては『鈍感力』も必要になります。

一つ一つ疑問を抱きすぎて、理解しきれずに諦めていった方も過去におられます。なので、機械的に覚えてしまうのも一つの策なのかもしれません。

ただ、疑問を持つということは素敵です。

今回のご質問も的を射ていますし、素晴らしいです。

こういふとあれですが、資格を取って慣れていけば自然と力になることも多い
です。私も受験時はAOCはチンプンカンプンでしたが、そのうち自然と理解で
きるようになりました。

ワインカラーニングは皆さんが試験に合格することはもちろん目標にしていま
す。ですが試験合格後に必要なこと、大切なことなど伝えたいこともたくさん
あります。

なので質問があればどんどん聞いてください。

大浦